

第8節 6日目:2月21日(火):土佐佐賀～中村 晴れ

2023年2月21日(火)晴れ、西南四国の旅の6日目は、土佐くろしお鉄道の土佐佐賀駅から中村駅までの営業キロ22.2kmに挑戦する。昨日に引き続き、ホテルでゆっくり朝食をとり臨む。中村駅8時の列車で土佐佐賀駅まで移動する。これまでの4日間の歩きに比べ、重いリュック背負わず、終着駅が中村であったので、全く時間の制約がなく、今回の歩き旅で最も精神的にも肉体的にも楽な旅であった。しかし、駅舎が高台にあり、足腰が丈夫でないと立ち寄れないような駅舎もあった。



※中村駅



※土佐佐賀駅までの道中



※土佐佐賀駅

各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

土佐佐賀(8:39)～佐賀公園(9:36)～土佐白浜(10:15)～有井川(12:00)～土佐上川口(12:35)～海の王迎(おうむかえ、12:58)～浮鞭(うきぶち、13:37)～土佐入野(14:27)～西大方(15:20)～古津賀(こつか、16:23)～中村(17:02)

①8時52分、104歩ある佐賀橋を通過。8時58分、横浜バス停(高知西南交通)前を経由し、佐賀港には9時5分到着。近くに横浜トンネルへの入口があった。9時17分、風光明媚なところが続く鹿島ヶ浦幡多十景前を通過。この界限地区は土佐西南大規模公園(佐賀地区)とあった。9時28分、井の岬(鹿島)を通過。9時33分、松山204km、四万十市22km地点を通過。本日の最初の佐賀公園駅には9時36分到着。急な階段を上った先にあった。9時58分、黒潮町白浜の地名を少し行った先に土佐白浜駅(10時15分)があった。この駅は佐賀公園駅以上に急な坂を上った先にあった。思いついて増設したような駅舎であった。しかも、トンネルとトンネルの間にあった。足腰が丈夫でも、この駅舎立ち寄りに体力と気配りを要した。



※土佐佐賀駅、佐賀橋



※横浜バス停、風光明媚な海岸線を歩く



※鹿島ヶ浦 幡多十景



※土佐西南大規模公園



※佐賀公園駅への路



※佐賀公園駅



※土佐白浜駅への路





※土佐白浜駅

②この駅から有井川駅にかけて、井の岬がある関係で海岸線を大きく回る歩きとなる。10時33分、松山 202 km、四万十市 20 km地点に到達。11時4分、灘という地名を通過。11時11分、宇和島 107 km、四万十市 18 km地点を通過。11時18分、町村合併前の大方町へ入る。くじらが見える町とあった。11時28分より、全長 320m ある井の岬トンネルを通過すると黒潮町伊田とあった。前方に民家が登場する。11時48分より、172mある伊田トンネルを通り抜ける。民家が広がる。有井川駅には12時到着。ここから足摺岬がうっすら見えてくる。淡々と歩いた先に土佐上川口駅への案内版を見つける。坂を上った先に土佐上川口駅(12時35分)があった。この駅舎は比較的まともなところにあった。そして、国道 56 号線を淡々と歩き、200m 脇道を上った先に海の王迎駅(12時58分)があった。



※有井川駅への路、井の岬トンネル



※民家が広がる、伊田トンネル



※有井川駅



※遠くに足摺岬(有井川駅ホームより)



※土佐上川口駅への路



※土佐上川口駅



※遠くに足摺岬



※海の王迎駅

③浮鞭(うきぶち)駅への道筋は、国道 56 号線沿いにはなく、500m位離れた先にあつたので、本日の駅舎で唯一神経を費やした。13 時 20 分、浮津バス停脇から第六感を頼りに国道 56 号線を離れ、路地歩きする。坂を上った先に宅配便の運転手の方に出会う。「くねくねした道筋を辿れば浮鞭駅に到着できます」とアドバイスを頂く。ネットで適宜検索しながら進む。一度も迷うことなく、ラッキーにも浮鞭駅には 13 時 37 分到着する。



※海の王駅から国道 56 号線に合流した先、浮津バス停



※浮鞭駅への路





※浮鞭駅

④13時48分、湊川橋を渡る。ここから遠くに浮鞭駅があった。国道56号線に合流する。13時53分、JR線下を潜る。万歩計で55歩ある加持川橋を渡る。14時4分、久保川を渡る。焼き鳥を店頭販売している土佐入野駅には14時27分到着。賑々しい駅舎であった。この駅には車椅子用のスロープもあった。初めてまともな駅舎に出会うことができる。



※国道56号線への路



※湊川橋、JR線潜る



※土佐入野駅への路



※土佐入野駅

⑦線路に沿って菜の花が咲いている道筋を歩く。14時51分、国道56号線に合流する。14時56分、宇和島96km、四万十市7km地点に到達。15時、下田ノ口を通過。蛸瀬川(かきせかわ)に沿って歩く。15時学校前バス停前を通過。15時20分、西大方駅に到着。15時46分、宇和島93km、宿毛28kmと記した標識前を通過。15時50分より、全長210mある逢坂(おさか)トンネルを通り抜ける。このトンネルを出ると、黒潮町から四万十市古津賀となる。道路から10m位上がったところに古津賀駅(16時23分)があった。



※西大方駅への路



※西大方駅



※逢坂トンネル



※古津賀駅



※古津賀駅

⑧16時50分より、万歩計で272歩ある中村大橋を渡る。線路を跨ぎ、300m位先に中村駅があった。橋を渡るとホテルクラウンヒルズ界隈の交差点があった。中村駅には17時2分到着する。



※中村大橋



※足元のトンボの絵を見ながら中村大橋を渡る



※遠くに中村駅、ホテル界限交差点



※中村駅

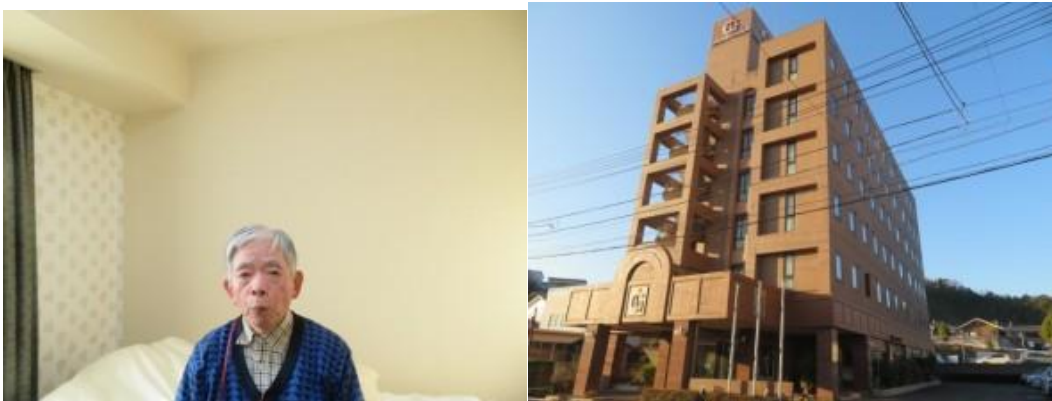
⑨ホテルで汗を流したあと、四万十サンリバー物産館に立ち寄り、お土産を購入する。
そして、昨夜行った”いちもん家”で本日の疲れを癒す。



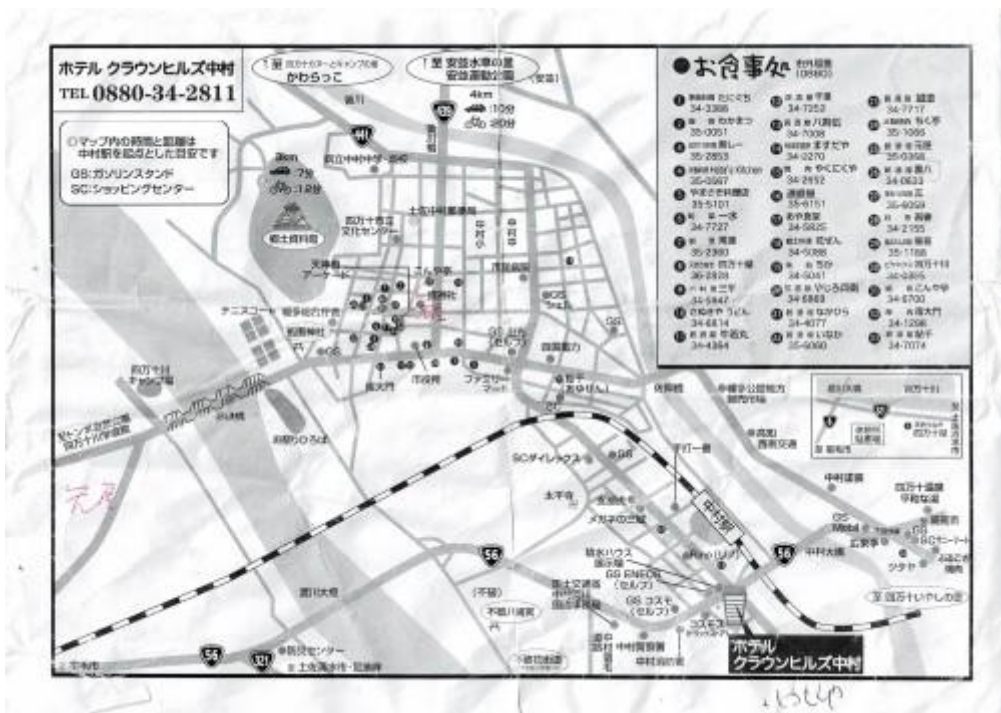
※四万十サンリバー物産館、いちもん家で夕食

第9節 7日目：2月22日（水）：足摺岬観光 快晴

2023年2月22日(水)快晴、西南四国の旅の7日目は、以下のような観光や飲み会で中村の最後の夜を満喫する。



※いざ出発！！



①バス移動 中村 8:20 → 足摺岬 10:05



※中村駅





②足摺岬観光 10時15分～10時35分



※ジョン万次郎





③38 番札所金剛福寺参拝 10時35分～10時50分



④バス移動 足摺岬 11:03 → 中村 12:55



⑤郷土資料館観光 13時12分～



⑥一條神社奉拝 14時6分～



※タクシーの運転手さんから”元屋”の紹介を得る

⑦喜八で祝杯 17時12分～





※一條神社からホテルまでの道中、宿毛線線路、いちもん家・物産館、ホテルから喜八までの道中



※元屋満席により、元屋店員さんから”喜八”を紹介頂く





※20 時 48 分(刈屋氏と 3 時間位話が盛り上がる)まもなくお開き！！